

愛媛大学附属高等学校議会体験会の開催について

5月11日（水曜日）に本会議場において、愛媛大学附属高等学校2年生118名の参加により、高校生議会体験会を開催しました。

（生徒代表あいさつの様子）



前半は、県議会の役割や仕組みなど、県議会についての説明を行った後、6名の生徒が副議長に対して質問を行いました。

質問する生徒は、登壇して本物の議員さながらに副議長に対し質問を投げかけていました。

質問の内容も、今治市にできる予定の獣医系大学の開校時期や、副議長の好きな業務ややりがいを感じた仕事、若者に積極的に取り組んでほしいことなど多岐にわたりました。

（副議長への質問の様子）



続いて、副議長と事務局長を囲んで、クラスごとに写真撮影を行いました。



後半は、選挙管理委員会事務局による選挙制度についての説明、生徒による本会議の議事体験を行いました。

まず、選挙管理委員会事務局の担当者から、18歳以上への選挙権年齢の引き下げを前に、選挙運動や投票に行く際の注意点等について説明があり、生徒は熱心に耳を傾けていました。



議会体験では、まず、生徒の投票により議長選挙を実施し、選挙で選ばれた議長役の生徒が議長席につき、議事進行を行いながら、生徒たちが考えた「愛附祭（あいふさい）の実施方法を変更すること」を議案として、本会議の議事を体験してもらいました。



知事役の生徒が議案の提案説明を行い、提案内容に対する質疑や答弁、さらには再質問、再答弁と行われ、本会議さながらの様子が見られました。続いて、提案内容に対する反対討論、賛成討論も行われましたが、それぞれ論点が整理されていてとても分かりやすく発言されていました。

(提案説明の様子)



(質疑の様子)



討論が終了した後は、議場の議員席に座った生徒によって採決を行いました。提案された議案は、起立多数により原案のとおり可決されました。



最後に、議場内を自由に見てもらった後、議会体験会を終了しました。

愛媛大学附属高等学校の皆さんには、県議会を身近に感じてもらうとともに、選挙や政治に関して興味を持ってもらういい機会になったのではないかと思います。